



Business Report

第74期 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第74期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する政府の経済支援策や、グローバル市場におけるIT市況の改善等により、一部業界では緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界経済及び事業環境が再び悪化し、企業業績は極めて厳しい状況が続いております。海外市場では中国を中心とした諸外国で景気の回復基調が高まってきているものの、依然として、感染リスクが広がっており、更なる世界経済の悪化への懸念や不透明感が強まっています。

今後の経営環境については、一定の感染症対策及びワクチン接種の実施により、

経済活動の再開と自粛を繰り返す中で、徐々に持ち直していくものと見込んでおりますが、本格的な回復には相当な時間を要することが想定されます。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車分野等に対する差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

特に、当社グループの主力製品である自動車・家電部品業界向け電気絶縁用樹脂製品は、差別化された高機能付加価値製品であり、当第2四半期以降の堅調な需要により、事業所の稼働率を高め、利

益水準を大きく改善させる要因となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は、受注環境にも広範な影響をもたらしており、主要な関係業界の受注動向が減退し、当社グループの業績にも少なからず影響を及ぼしております。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

株主の皆様には、当社グループのこうした取り組みをご理解いただき、引き続き相変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知識を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



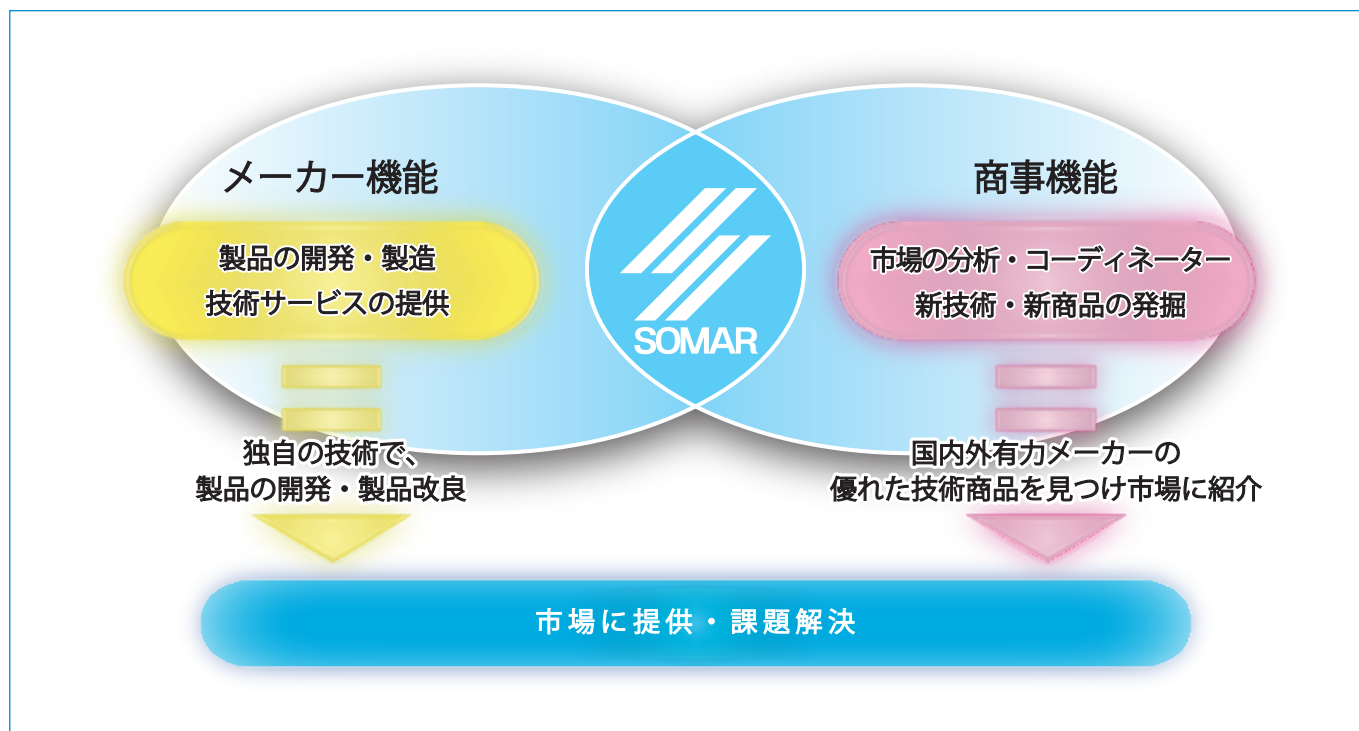
社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

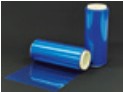


【商社とメーカー2つの顔を持つソマール】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「商事機能」と「メーカー機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高： 14,486 百万円 (前年比 5.2%減)	営業利益： 390 百万円 (前年比 3.8%増)	電子機器、自動車部品等の関係業界においては、徐々に需要回復の兆しが見られましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による世界市場の減速の影響を受け、売上高は減少しました。社会活動が制約される環境下、高機能付加価値製品の受注活動に注力し、製造コスト削減に努めた結果、営業利益は増加しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高： 3,357 百万円 (前年比 22.2%減)	営業利益： 11 百万円 (前年比 38.7%減)	主要顧客である製紙会社が操業短縮を実施するなど新聞・塗工紙分野の需要が低迷する中、需要が堅調な板紙・生活産業用紙分野への販売に注力しましたが、原料価格及び原料モノマーの下落に伴う販売価格の引き下げ等の影響を受け、売上高・営業利益が減少しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グアーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高： 1,468 百万円 (前年比 3.5%増)	営業利益： 169 百万円 (前年比 35.6%増)	政府による緊急事態宣言等により飲食店舗の営業が制限された影響を受け、業務用加工食品向けの販売は減少しましたが、家庭用加工食品向けの増粘安定剤・乾燥野菜等の需要が増加したことにより、売上高・営業利益が増加しました。

◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(千円)

科 目	前連結会計年度 2020年3月31日現在	当連結会計年度 2021年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	14,123,965	14,666,286
固定資産	5,751,938	5,539,473
有形固定資産	2,960,722	2,660,778
無形固定資産	99,063	112,591
投資その他の資産	2,692,152	2,766,104
資産合計	19,875,904	20,205,759
【負債の部】		
流動負債	3,943,034	3,930,758
固定負債	3,570,521	3,621,930
長期借入金	3,450,000	3,450,000
資産除去債務	62,067	63,965
繰延税金負債	6,748	62,556
退職給付に係る負債	7,564	8,543
その他	44,141	36,865
負債合計	7,513,556	7,552,688
【純資産の部】		
株主資本	11,377,042	11,553,043
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	1,844,842	2,020,975
自己株式	△56,964	△57,095
その他の包括利益累計額	985,306	1,100,027
純資産合計	12,362,348	12,653,070
負債純資産合計	19,875,904	20,205,759

連結損益計算書

(千円)

科 目	前連結会計期間 2019年4月1日～ 2020年3月31日	当連結会計期間 2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	21,098,791	19,373,390
売上原価	17,690,085	16,018,809
売上総利益	3,408,706	3,354,581
販売費及び一般管理費	3,138,722	3,027,054
営業利益	269,983	327,526
営業外収益	102,923	100,949
営業外費用	85,606	30,530
経常利益	287,300	397,944
特別利益	-	253,497
特別損失	3,889	233,889
税金等調整前当期純利益	283,410	417,553
法人税等合計	107,572	144,415
当期純利益	175,838	273,137
親会社株主に帰属する 当期純利益	175,838	273,137

連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科 目	前連結会計期間 2019年4月1日～ 2020年3月31日	当連結会計期間 2020年4月1日～ 2021年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,126,128	560,084
投資活動による キャッシュ・フロー	△159,161	△89,304
財務活動による キャッシュ・フロー	△151,673	△100,707
現金及び現金同等物に 係る換算差額	27,580	△44,700
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	842,874	325,372
現金及び現金同等物の 期首残高	4,240,259	5,146,704
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	63,571	-
現金及び現金同等物の 期末残高	5,146,704	5,472,077

◆ 株主の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株

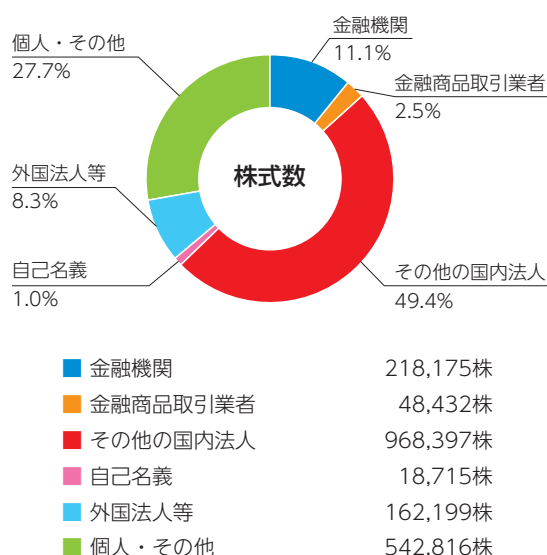
発行済株式の総数 1,958,734株

株主数 1,503名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	51	2.7
INTERACTIVE BROKERS LLC	47	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	46	2.4
ソマール従業員持株会	33	1.7
チルダース トーマスハミルトン	33	1.7
DBS BANK LTD. 700152	23	1.2

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	325名 (連結447名)

◆ 役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	曾谷 和久
取締役	鶴田 正樹
取締役	小林 弘司
取締役	松山 撰昇
取締役	三村 昇之
取締役	坂本 亨
取締役	春日 信史
常勤監査役	山崎 晴
監査役	亀山 玲
監査役	中島 史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.somar.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.somar.co.jp/>

